

第7章 オフサイドとアイシング

オフサイドとアイシングの例と解釈

本章では，以下の項目を学習する：

- オフサイドとアイシングの正しいコール
をするためのガイドラインの説明
- 優秀なラインズマンの判定の実例

$\rho^2(M)/\rho_0$

$\rho^2(M)/\rho_0$

...

オフサイド

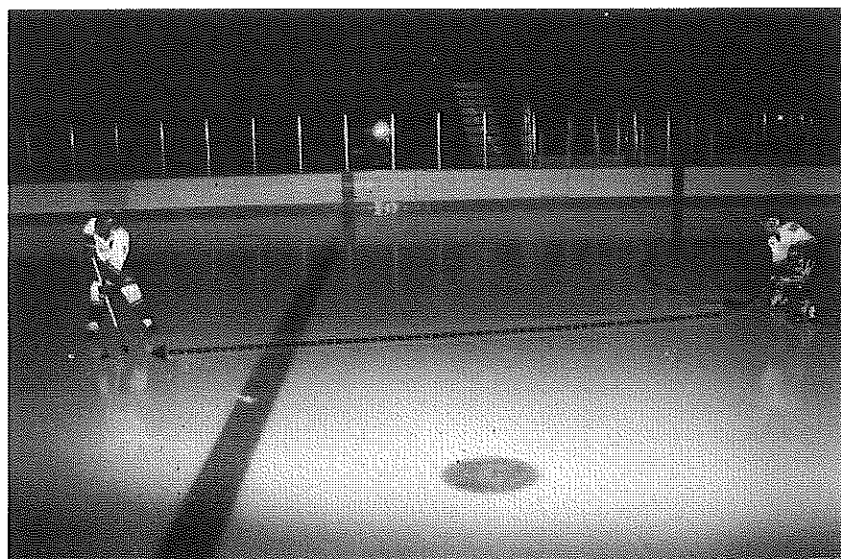


図 1

アタッキング・プレイヤーの両足のスケートが、バックより先にブルーラインを越えた場合、オフサイドとなる。バックが完全にブルーラインを越えた瞬間の、アタッキング・プレイヤーのスケートの位置が決定要因となる。両足のスケートがブルーラインを越えていれば、その選手はオフサイドとなる（図1）。

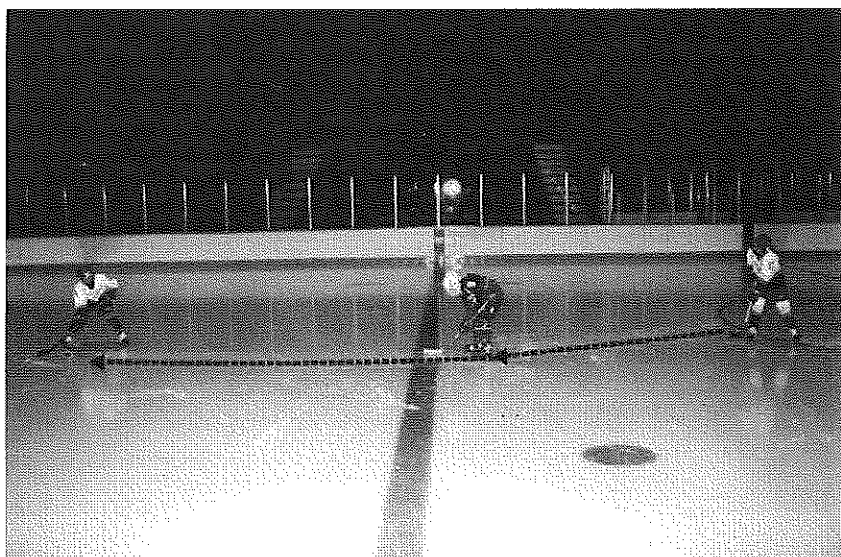


図 2

アタッキング・プレイヤーの両足のスケートがブルーラインを越えている。ニュートラル・ゾーンにいるチームメイトが打ったパックが相手プレイヤーの体またはスティックに当たり、跳ね返ってブルーラインを越えた。オフサイド（図2）

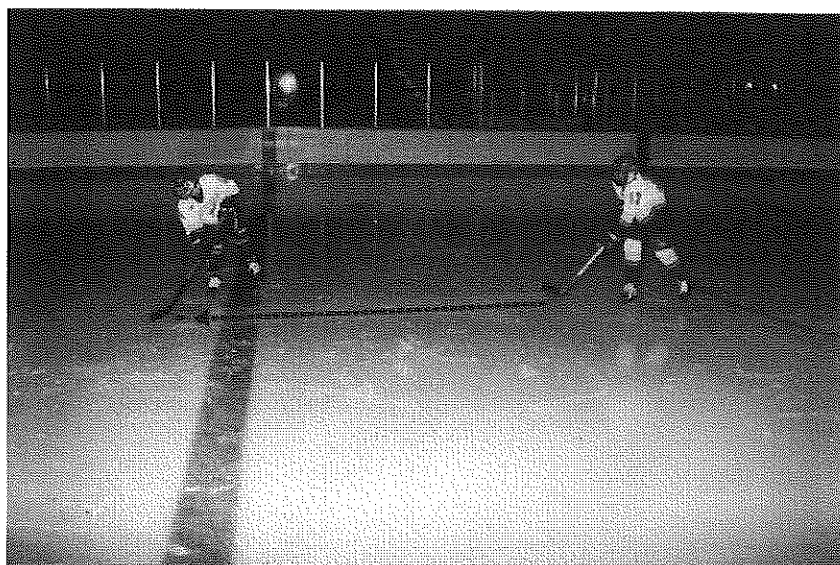


図 3

パックが完全にブルーラインを越えた瞬間，プレイヤーの片足のスケートがブルーライン上にあり（線上にあるが触れていない），もう片方のスケートがブルーラインを越えている。オフサイド（図3）



図 4

パックを持ったアタッキング・プレイヤーがブルーラインを越えた。そのプレイヤーが，両足をアタッキング・ゾーンに入れたまま，パックをスティックでニュートラル・ゾーンに戻した。そのプレイヤーが再度パックをアタッキング・ゾーンに入れた。オフサイド（図4）

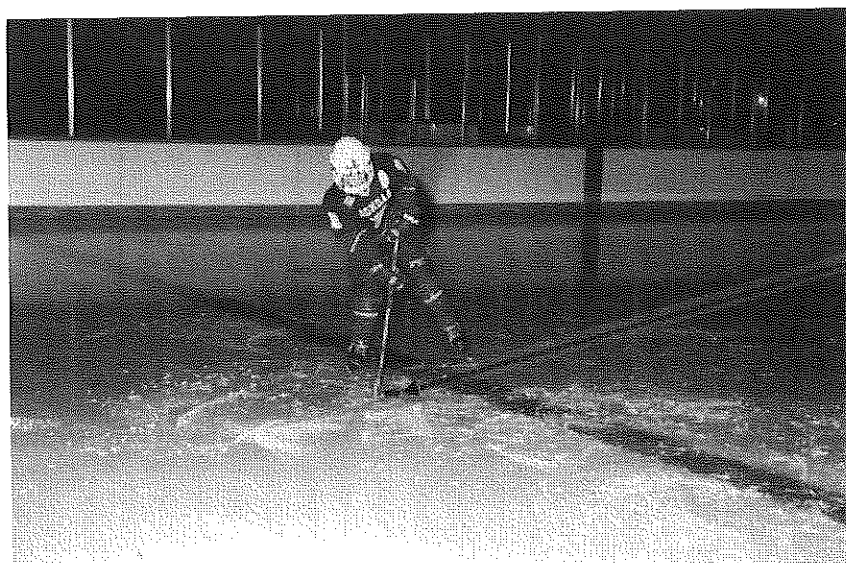


図 5

プレイヤーの片足のスケートがニュートラル・ゾーン内に、もう片方のスケートがアタッキング・ゾーン内にあり、両足とも氷面についている。パックがブルーラインを越える（アタッキング・ゾーンに入る）瞬間、そのプレイヤーがニュートラル・ゾーン内にあるスケートを浮かせた。オフサイド（図5）

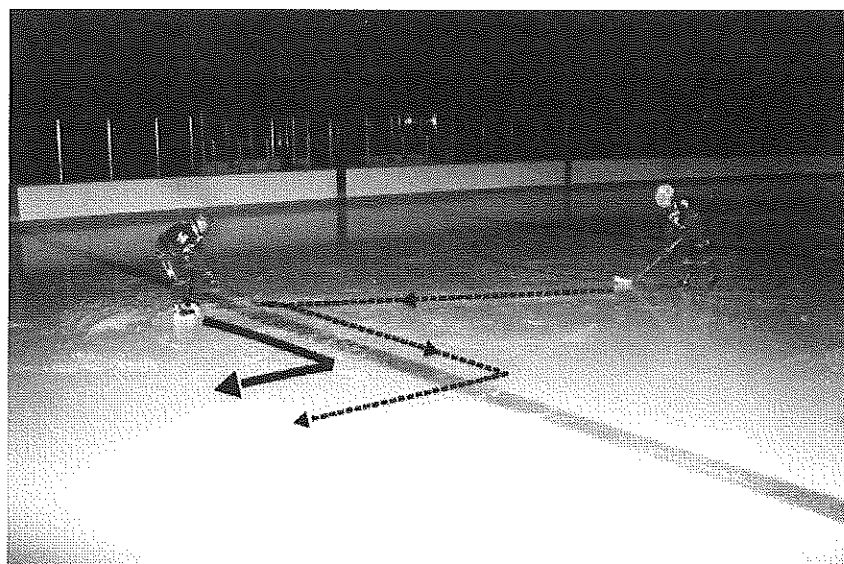


図 6

両足のスケートがブルーラインを越えアタッキング・ゾーン内にあるプレイヤーがニュートラル・ゾーン内のチームメイトからパスを受ける。パックがブルーラインを越える前にこのプレイヤーがスティックでバックを止め、パックを引き込んでブルーラインを越えさせた（アタッキング・ゾーンに入れた）。オフサイド（図6）

ノー・オフサイド

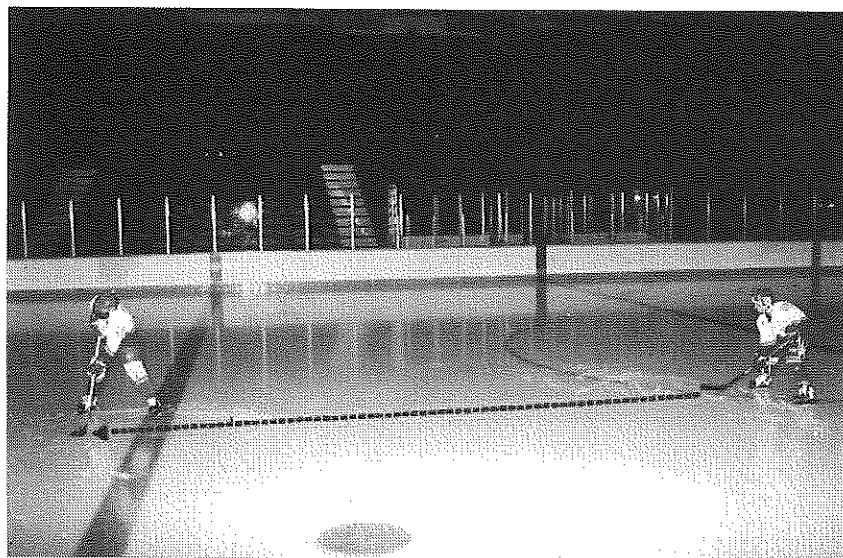


図 7

バックが完全にブルーラインを越えた瞬間、プレイヤーの片足のスケートがブルーライン上にあり、もう片方のスケートがブルーラインの内側にある。

ノー・オフサイド (図7)



図 8

片足のスケートがブルーラインの内側にありもう一方のスケートがブルーラインに接触しているアタッキング・プレイヤーがパスを受ける。バックはブルーラインに接触している。

ノー・オフサイド (図8)



図 9

バックが完全にブルーラインを越えた瞬間，片足のスケートがブルーラインの外側またはブルーライン上にあり，もう片方のスケートがブルーラインの内側にある。

ノー・オフサイド (図9)

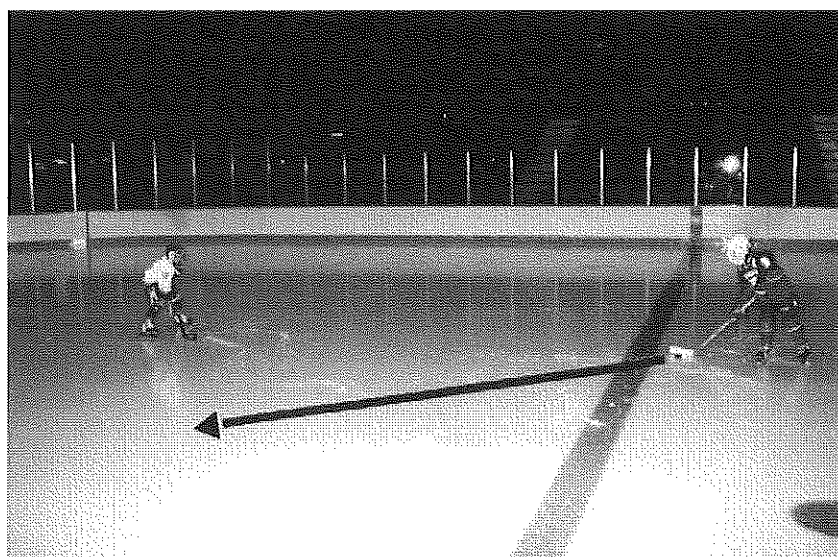


図 10

アタッキング・プレイヤーがアタッキング・ゾーンにいる。ニュートラル・ゾーン内でバックを保持し支配している相手プレイヤーが，ディフェンディング・ゾーンにバックを持ち込んだ。アタッキング・プレイヤーはまだアタッキング・ゾーンにいる。

ノー・オフサイド (図10)



図 1 1

アタッキング・プレイヤーがアタッキング・ゾーン内にいる。そのアタッキング・プレイヤーがまだアタッキング・ゾーンにいる間に、ニュートラル・ゾーン内でバックを保持し支配している相手プレイヤーが、バックをパスまたはシュートしてディフェンディング・ゾーンに戻した。ノー・オフサイド (図11)

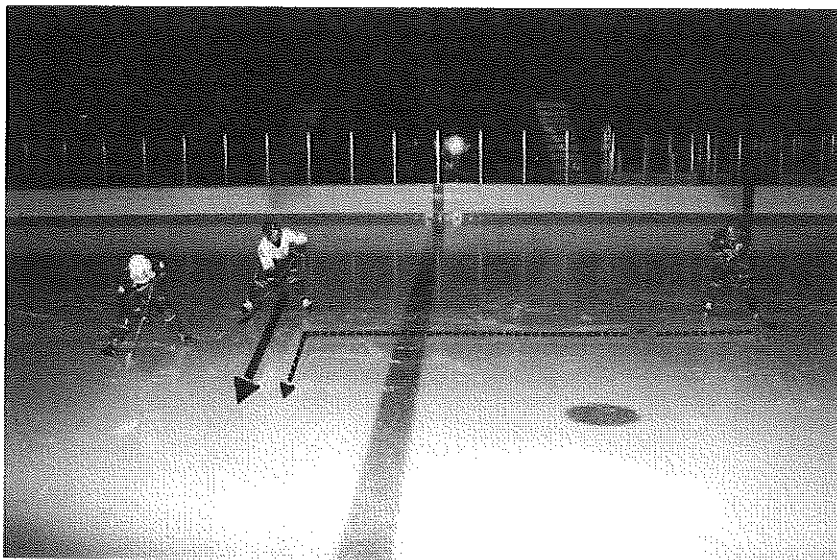


図 1 2

アタッキング・プレイヤーがアタッキング・ゾーン内にいる。ニュートラル・ゾーン内でバックを保持し支配している相手プレイヤーが、バックをパスまたはシュートしてディフェンディング・ゾーンに戻した。このバックが、既にアタッキング・ゾーン内にいるアタッキング・プレイヤーにインターセプトされた。
ノー・オフサイド (図12)

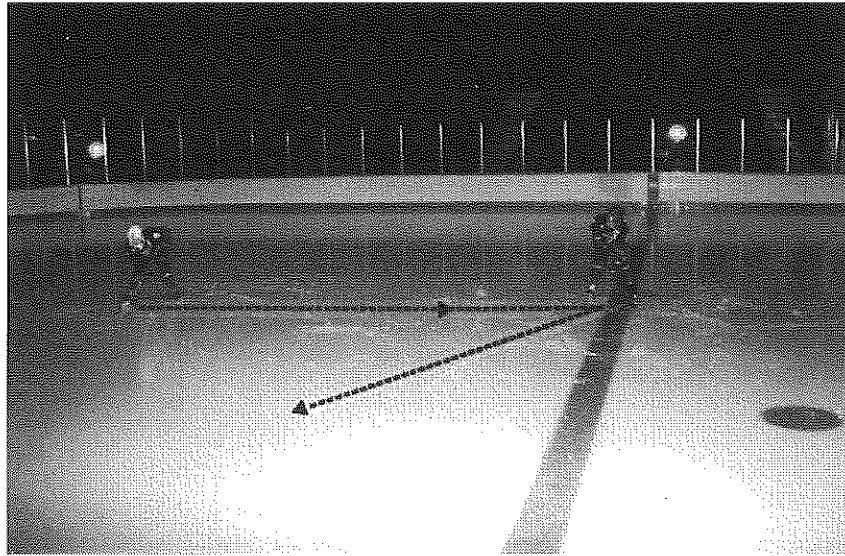


図 13

アタッキング・チームがアタッキング・ゾーン内でバックを保持している。バックがブルーラインまでパスで戻され、再度打ち返された。

ノー・オフサイド (図13)

注：バックは完全にブルーラインを越えなかった。

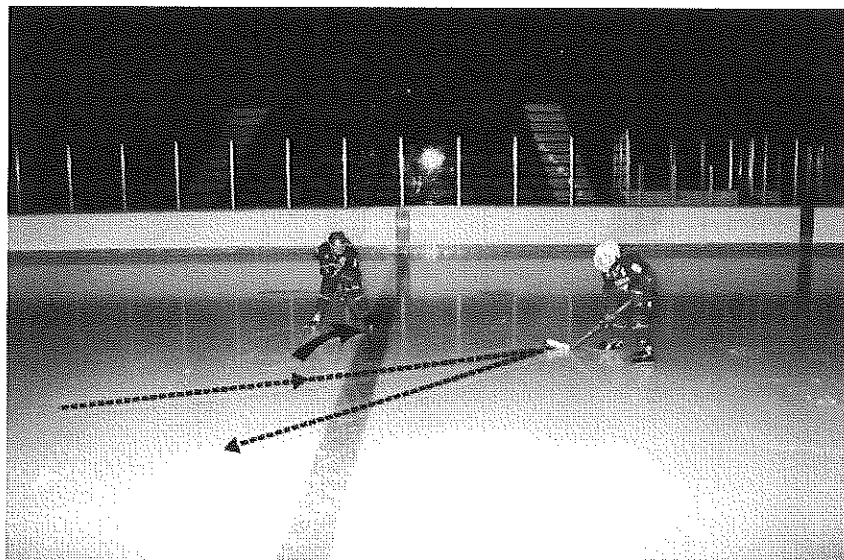


図 14

アタッキング・ゾーンにいるアタッキング・プレイヤーまたはディフェンディング・プレイヤーが打ったバックまたはそらせたバックが完全にブルーラインを越えた。アタッキング・プレイヤーはブルーラインまで戻り、バックが再度ブルーラインの内側の線を完全に越えるまで、片足のスケートをブルーラインに接触させた。

ノー・オフサイド (図14)



図 15

プレイヤーの両足のスケートがブルーラインを越えているが、バックはまだブルーライン上にある。ノー・オフサイド (図15)

注：バックがブルーラインの内側の縁を完全に越えていないため、オフサイドにはならない。

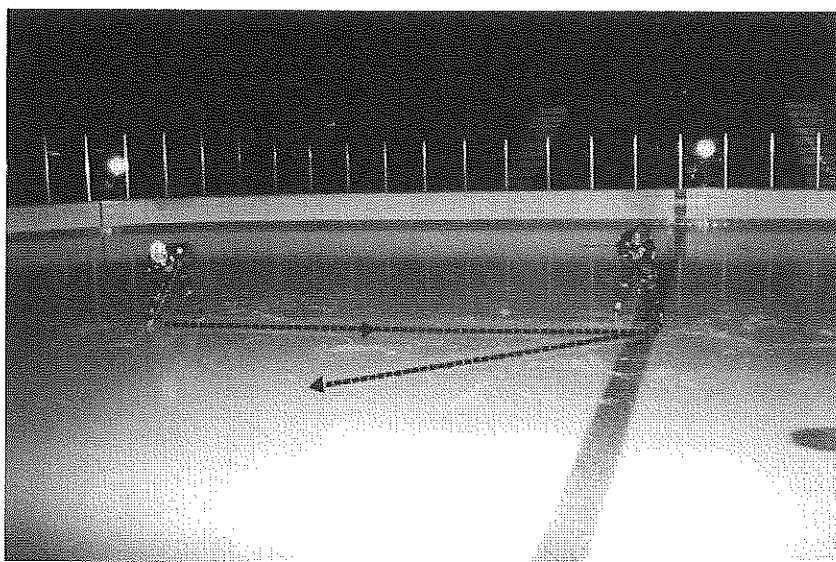


図 16

アタッキング・チームがアタッキング・ゾーン内でバックを保持している。バックがブルーラインまでパスで戻され、バックの半分がブルーラインを越えた（バックの半分はライン上にあり、半分はラインの外側の縁を越えている）。その後打ったバックがアタッキング・ゾーンに入った。ノー・オフサイド (図16)

注：この場合も、バックはブルーラインの外側の縁を完全に越えていなかった。

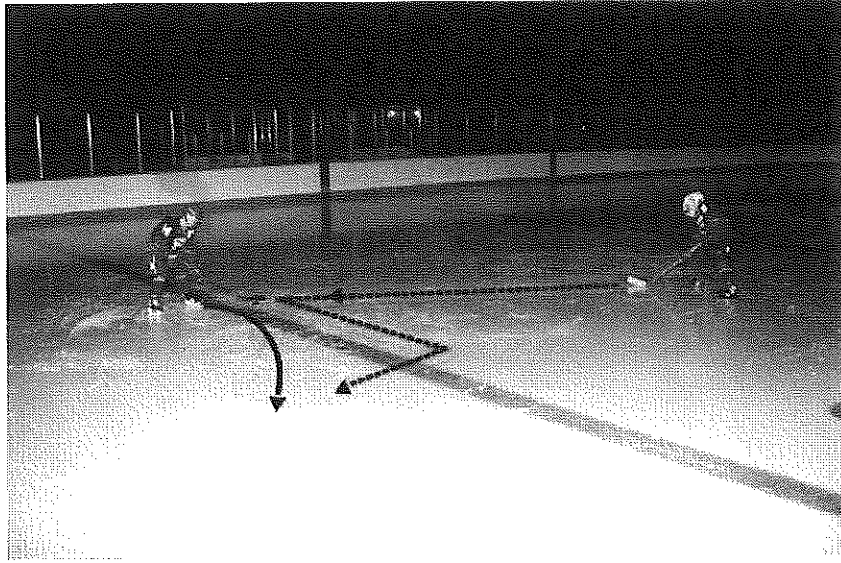


図 17

両足のスケートがブルーラインの内側にあるアタッキング・プレイヤーが、ニュートラル・ゾーン内にいるチームメイトからパスを受ける。このプレイヤーはバックがブルーラインを越える前にスティックでバックを止め、戻って片足のスケートをブルーラインにつけた状態で、バックを引き込んでブルーラインを越えた。

ノー・オフサイド (図17)

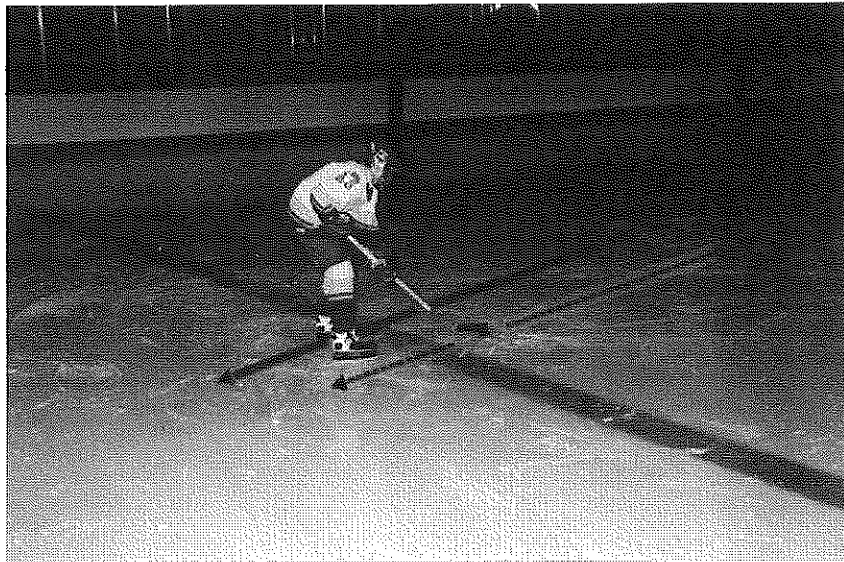


図 18

バックを運んでいるプレイヤーは、バックより先にブルーラインを越えてもオフサイドにはならない。(例：ニュートラル・ゾーン内の、ブルーラインから1.5m程の位置にいるプレイヤーがチームメイトからパスを受け、向きを変えバック・スケーティングでバックを運び、そのプレイヤーの体がバックより先にブルーラインを越えた)。

ノー・オフサイド (図18)

ディレイド・オフサイド

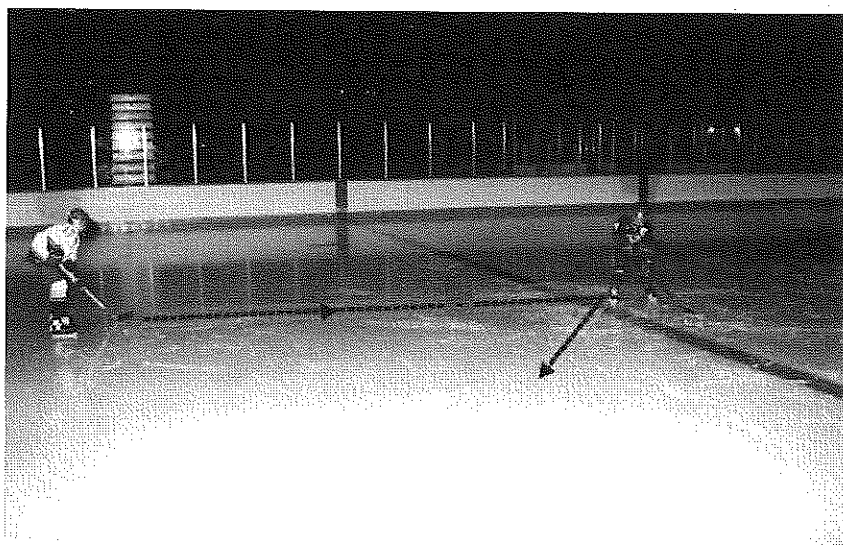


図 19

アタッキング・プレイヤーまたはディフェンディング・プレイヤーが打ったパックがブルーラインを越えた。そのパックがその後ニュートラル・ゾーン内でアタッキング・プレイヤーまたはディフェンディング・プレイヤーに当たり、アタッキング・プレイヤーがアタッキング・ゾーンにいる間に、跳ね返ってディフェンディング・ゾーンに戻った。

ディレイド・オフサイド (図19)

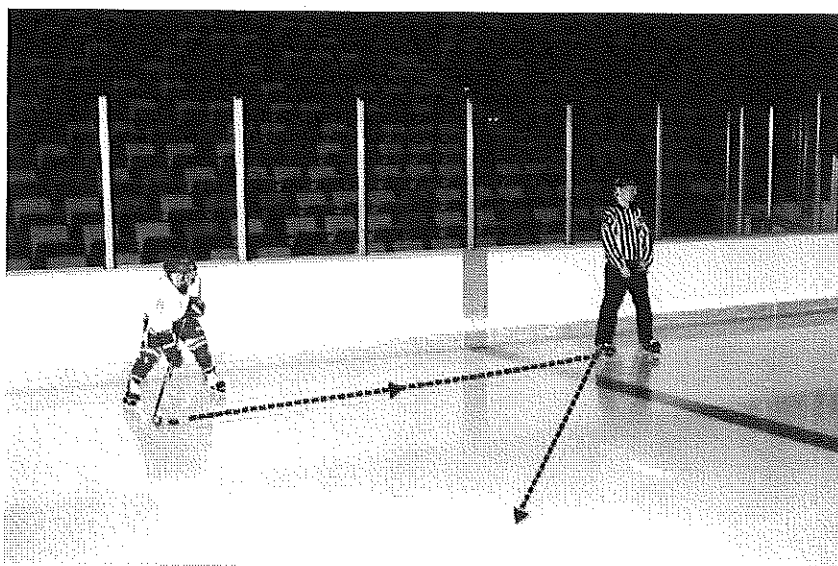


図 20

アタッキング・ゾーン内にいるアタッキング・プレイヤーまたはディフェンディング・プレイヤーが打ったパックがブルーラインを越えニュートラル・ゾーンに入った。そのパックがニュートラル・ゾーン内でオフィシャルに当たり、アタッキング・プレイヤーがまだアタッキング・ゾーン内にいる間に、跳ね返ってディフェンディング・ゾーンに戻った。

ディレイド・オフサイド (図20)

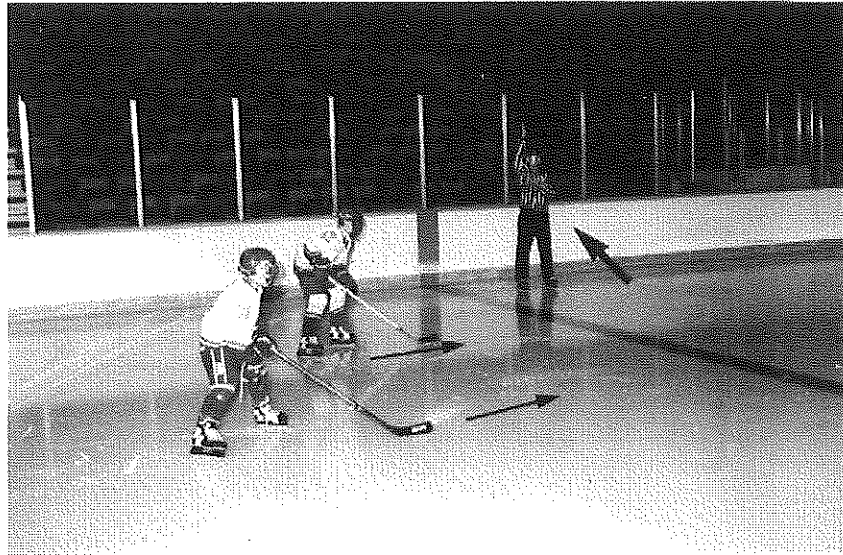


図 2 1

アタッキング・プレイヤーがバックより先にアタッキング・ゾーンに入った場合、オフィシャルは腕を上げる動作によってディレイド・オフサイドの合図をする。アタッキング・プレイヤーは全員、スケートをブルーラインに接触させることによってゾーンを空けなければならない。この間、アタッキング・プレイヤーはバックまたはバックをプレーしているディフェンディング・プレイヤーに接触してはならない。

ディレイド・オフサイド (図21)

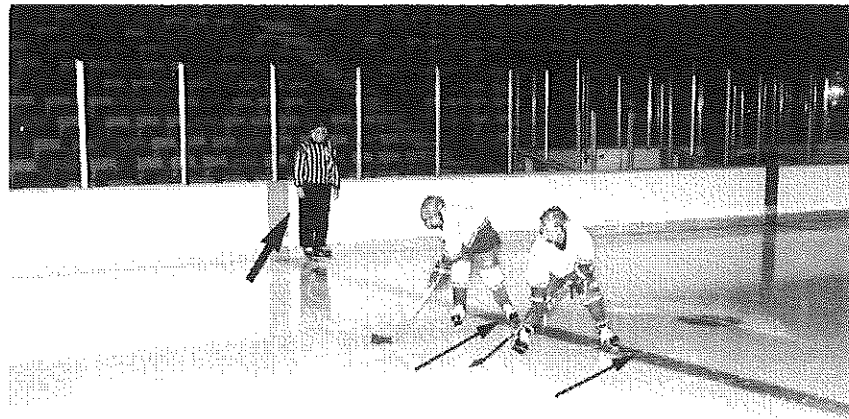


図 2 2

ディレイド・オフサイドがかかり、アタッキング・プレイヤー全員がスケートをブルーラインに接触させることによってゾーンを空けた場合（またはディフェンディング・チームがニュートラル・ゾーンにバックをパスしたり持ち込んだ場合）、ラインズマンはディレイド・オフサイドを取り消すために腕を下ろす。

注：ディレイド・オフサイドが取り消されるためには、バックがアタッキング・ゾーンにある間にアタッキング・プレイヤー全員がアタッキング・ゾーンから出なければならない（図22）。

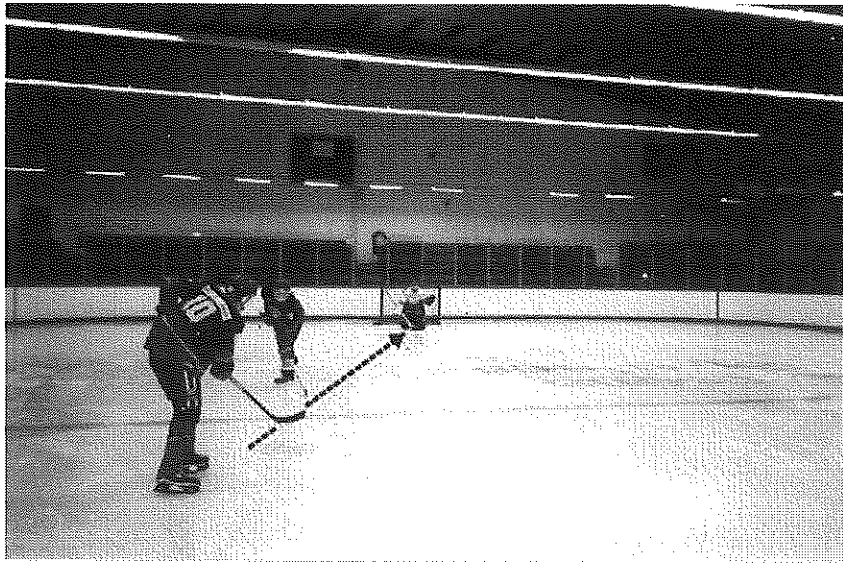


図 2 3

アタッキング・プレイヤーが既にアタッキング・ゾーン内にいる状態で、アタッキング・ゾーンの外からバックがゴールに向かってシュートされた場合、通常の「クリアリング・ザ・ゾーン」のルールに従ってプレーが中断される（図23）。

故意のオフサイド

故意のオフサイドと判定された場合、プレーは直ちに中断され、それに続くフェイスオフは違反したチームのエンドゾーンのフェイスオフ・スポットで行われる（規則第450条）

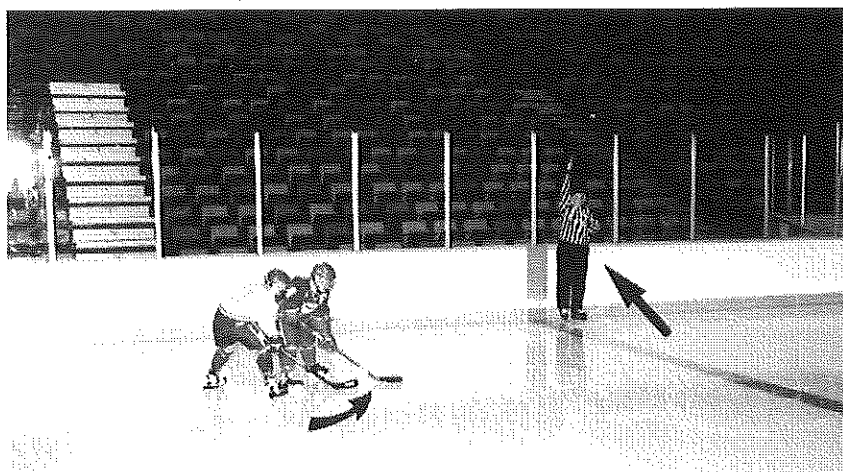


図 24



図 25

下記の4つのケースで、**故意のオフサイド**がコールされる：

1. アタッキング・ゾーン内にいるアタッキング・プレイヤーが、ディレイド・オフサイドがかかっていることを知りながら故意にバック保持者をチェックした場合（図24）
2. 自チームのプレイヤーがオフサイド・ポジションにいることを知りながら、アタッキング・プレイヤーが故意にバックをアタッキング・ゾーンに持ち込んだ場合（図25）
3. 自チームのプレイヤーがオフサイド・ポジションにいることを知りながら、アタッキング・プレイヤーが故意にシュートした場合。
4. アタッキング・ゾーン内にいるアタッキング・プレイヤーが、ディレイド・オフサイドがかかっていることを知りながら、故意にバックをプレーした場合。

アイシング

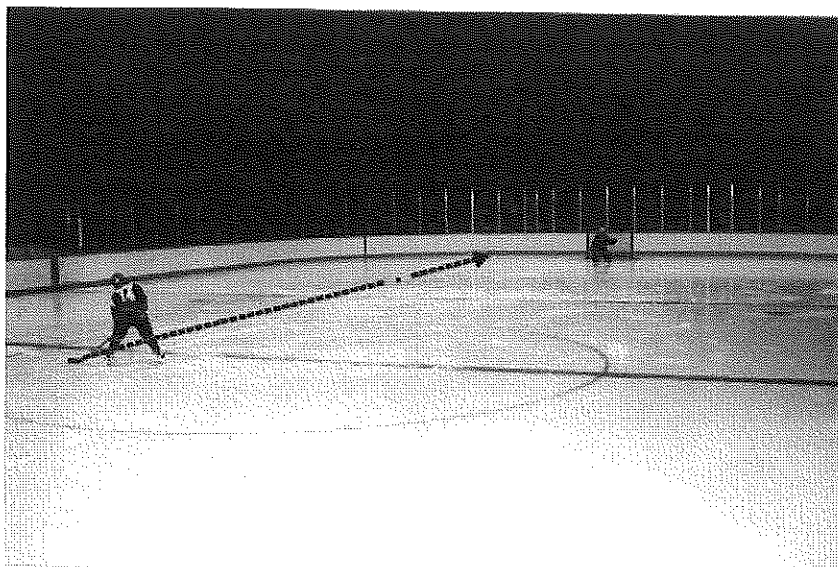


図 26

センター・レッドラインの手前から打ったパックがゴールラインを越えた。
アイシング (図26)

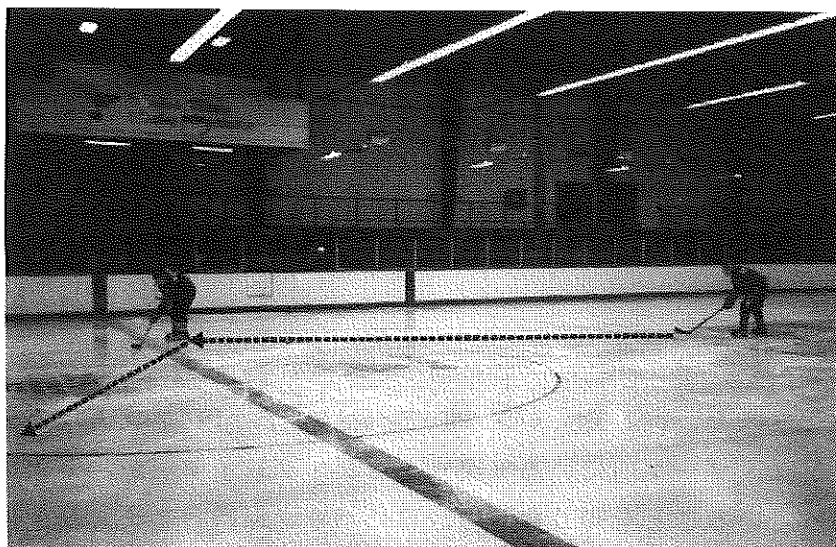


図 27

自チームのブルーラインの手前にいるプレイヤーが打ったパックが、センター・レッドラインより自チーム側にいるチームメイトのスティックまたは体に当たり、その後相手ゴールラインを越えた。アイシング (図27)

注：パックがゴールラインを越えた瞬間にアイシングが成立する。

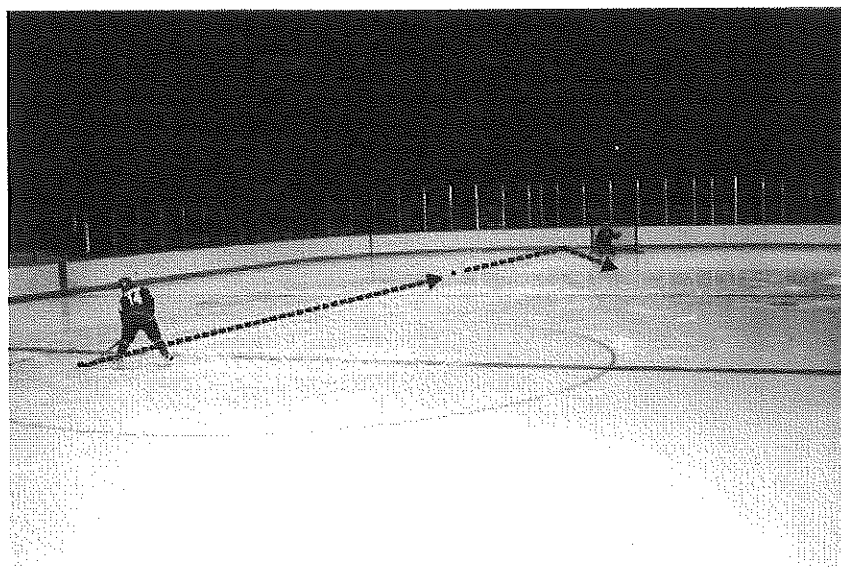


図 28

センター・レッドラインの手前から打ったパックが、エンドボードに当たり、リバウンドしてゴールクリアーズを通過した。アイシング（図28）



図 29

センター・レッドラインの手前から打ったパックがクロスバーの上を越えた。アイシング（図29）

ノー・アイシング

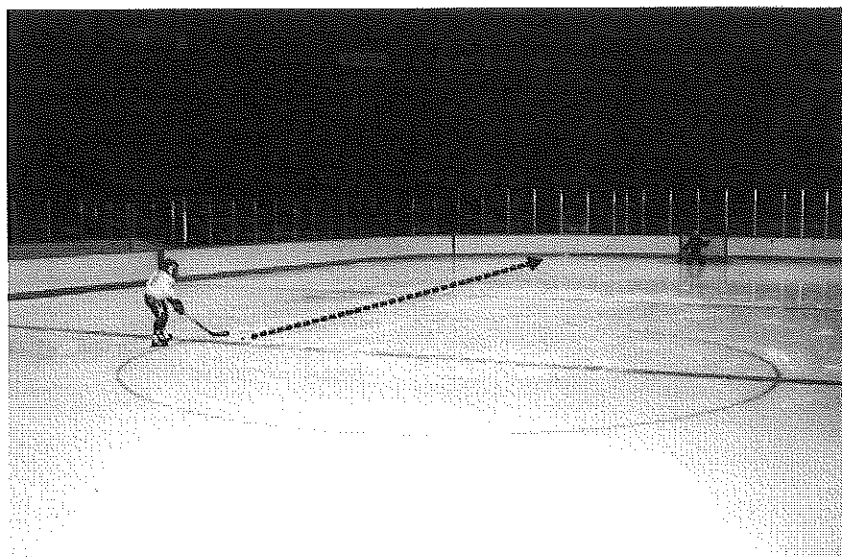


図 30

センター・レッドラインの手前に立っているプレイヤーが、センター・レッドラインを越えているスティックでバックを打ち、ゴールラインを越えた。

ノー・アイシング (図30)

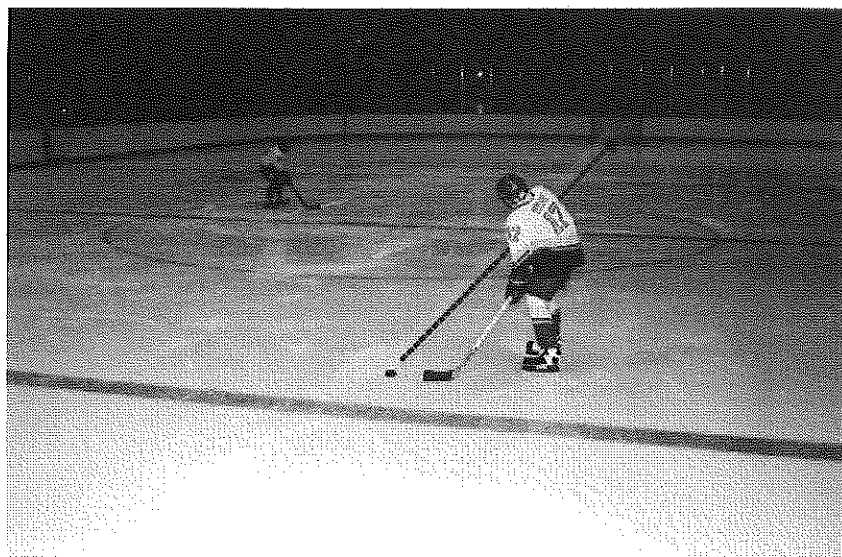


図 31

センター・レッドラインの手前にいるプレイヤーが打ったバックがゴールに入った。

得点 ノー・アイシング (図31)

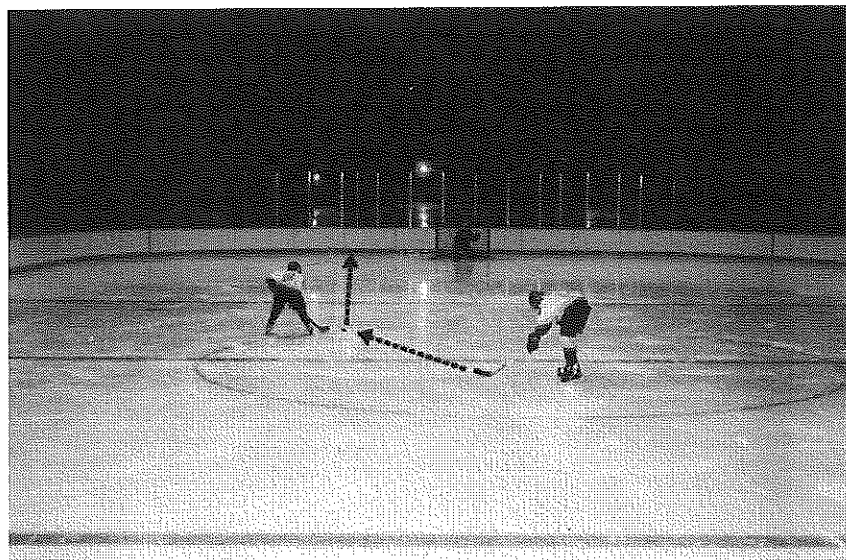


図 3 2

ブルーラインを越えているプレイヤーから、センター・レッドラインを越えているチームメイトにパックがパスされた。パックがパスを受けたプレイヤーのスティックまたは体に当たり、そのままゴールラインを越えた。ノ ー ・ アイ シ ン グ (図 3 2)



図 3 3

センター・レッドラインより自チーム側にいるプレイヤーが打ったパックがゴールクリーズを通過してゴールラインを越えた。ノ ー ・ アイ シ ン グ (図 3 3)



図 34

センター・レッドラインの手前に立っているプレイヤーが打ったパックが，相手プレイヤーの体またはスティックに当たってゴールラインを越えた。

ノー・アイシング (図34)

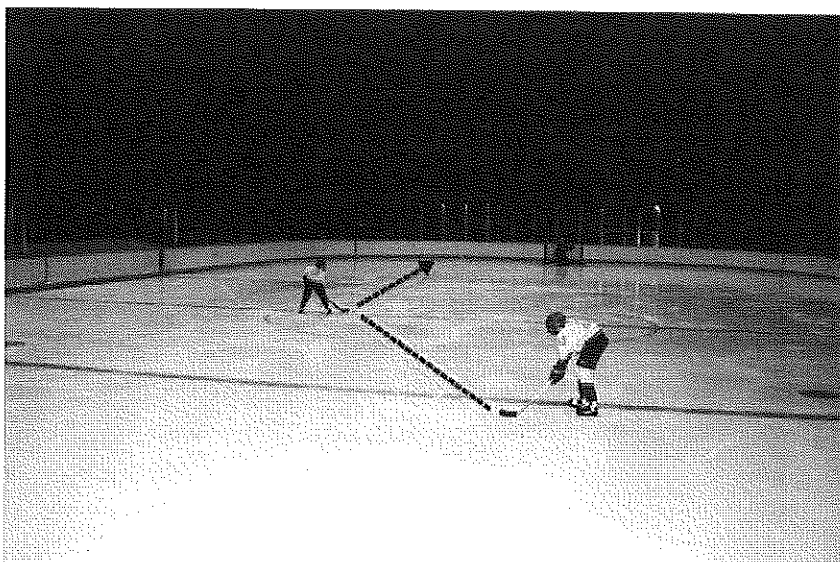


図 35

自チームのブルーラインの手前から，両足ともセンター・レッドラインより自チーム側にあるチームメイトにパスされたパックが，このプレイヤーのセンター・レッドラインを越えているスティックに当たり，ゴールラインを越えた。

ノー・アイシング (図35)

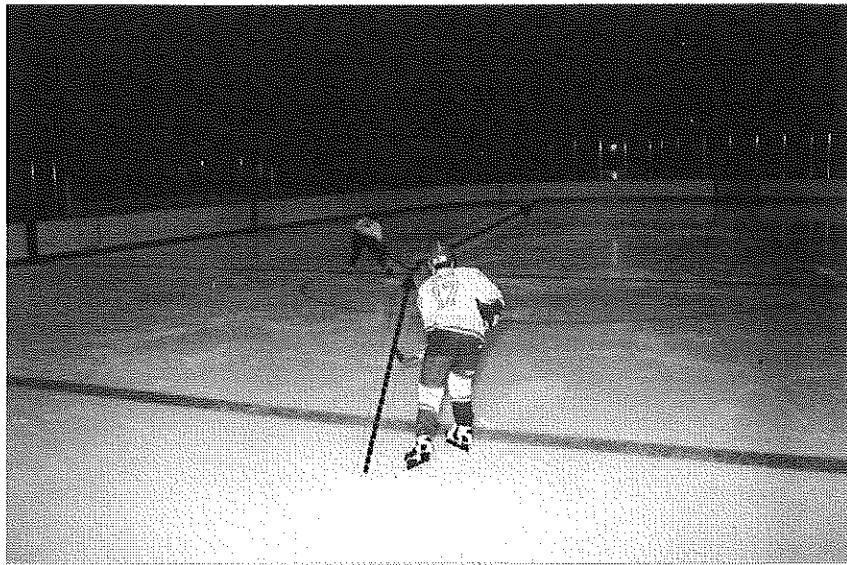


図 36

ブルーラインの内側にいるプレイヤーから、片足がセンター・レッドラインを越えているチームメイトにパスされたパックが、センター・レッドラインを越えているスティックまたはスケートに当たり、ゴールラインを越えた。

ノ ー ・ ア イ シ ン グ (図36)

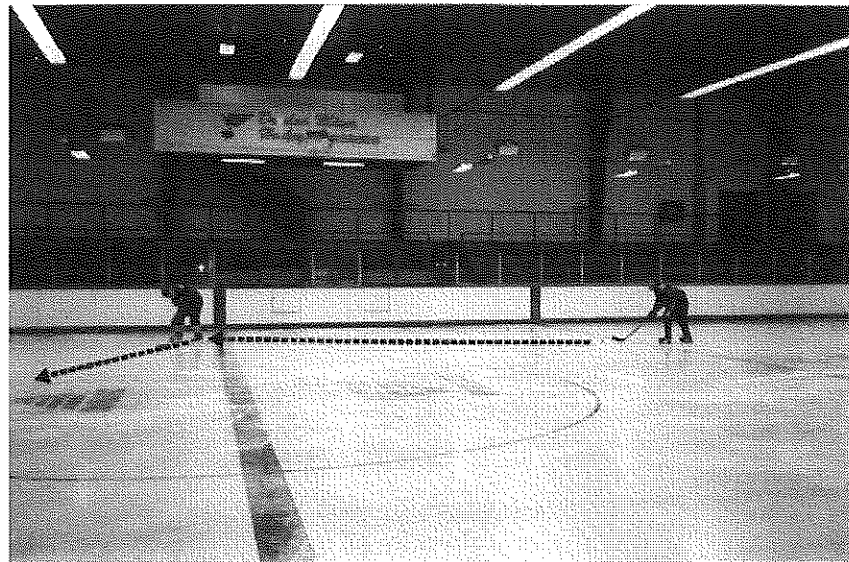


図 37

両足のスケートが自チームのブルーラインの内側にあり、ブルーラインの向こう側でパックをスティックで持っているプレイヤーからパスが出された。このパックが、センター・レッドラインの向こう側にいるチームメイトのスティックまたはスケートに当たり、跳ね返ってゴールラインを越えた。ノ ー ・ ア イ シ ン グ (図37)

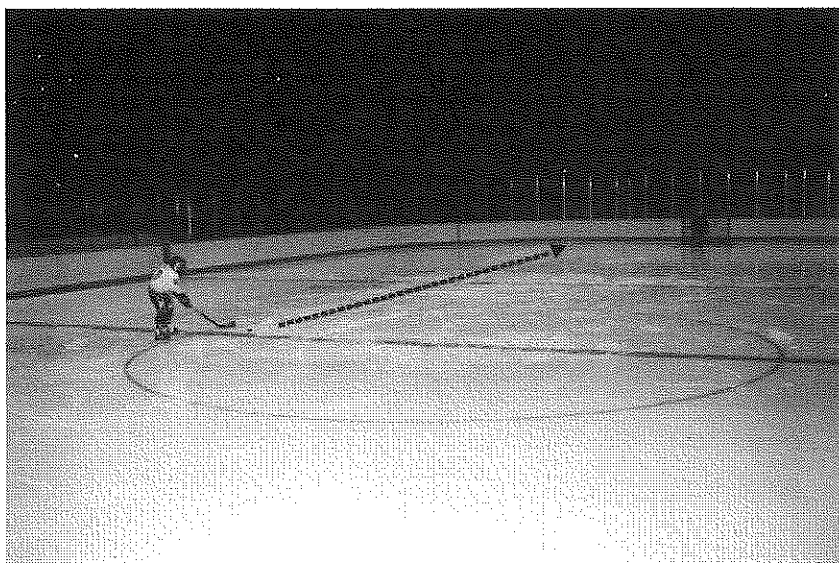


図 38

片足または両足のスケートがセンター・レッドラインの手前にあり、センター・レッドラインの向こう側でパックをスティックで持っているプレイヤーがシュートしたパックがゴールラインを越えた。ノー・アイシング (図38)



図 39

アタッキング・プレイヤーが打ったパックが、ディフェンディング・ブルーラインの後ろにいるディフェンディング・プレイヤーに当たり、相手ゴールラインを越えた。ノー・アイシング (図39)

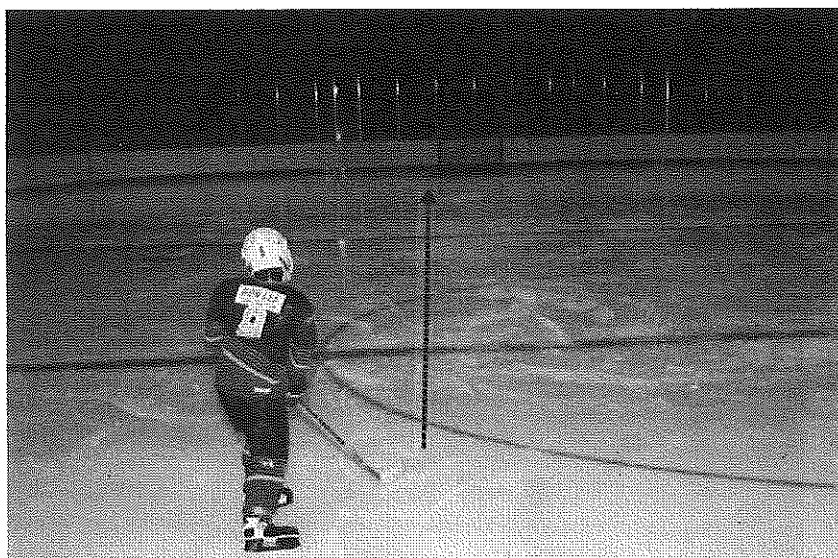


図 40

センター・レッドラインの後ろにいるプレイヤーが打ったパックが、ゴールクリーズを形成するラインの一部に触れた後、ゴールラインを越えた。

ノー・アイシング (図40)

その他のアイシングの場面

パックが打たれた時点で相手チームより人数の少ないチームには、アイシングはコールされない。

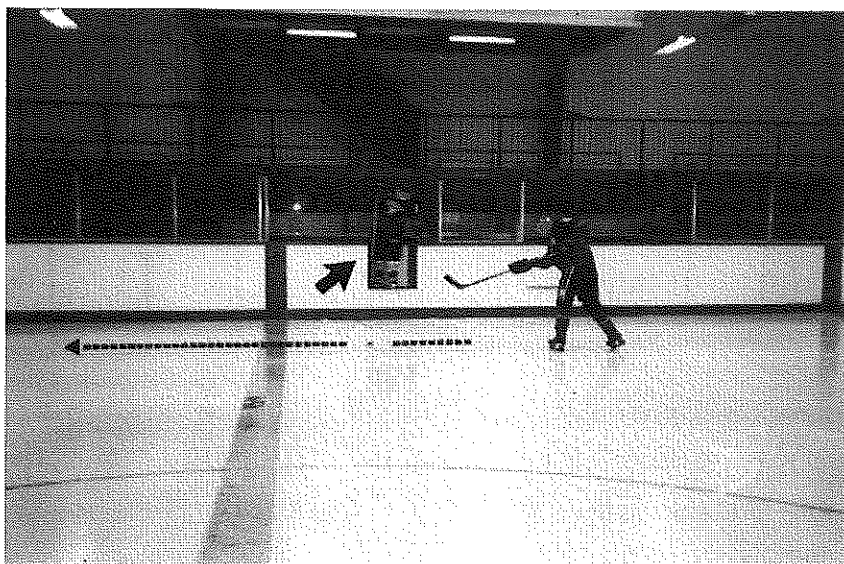


図 4 1

ペナルティが終了し（ドアが開き），パックが打たれた瞬間にプレイヤーが氷上に戻る。
アイシング（図4 1）

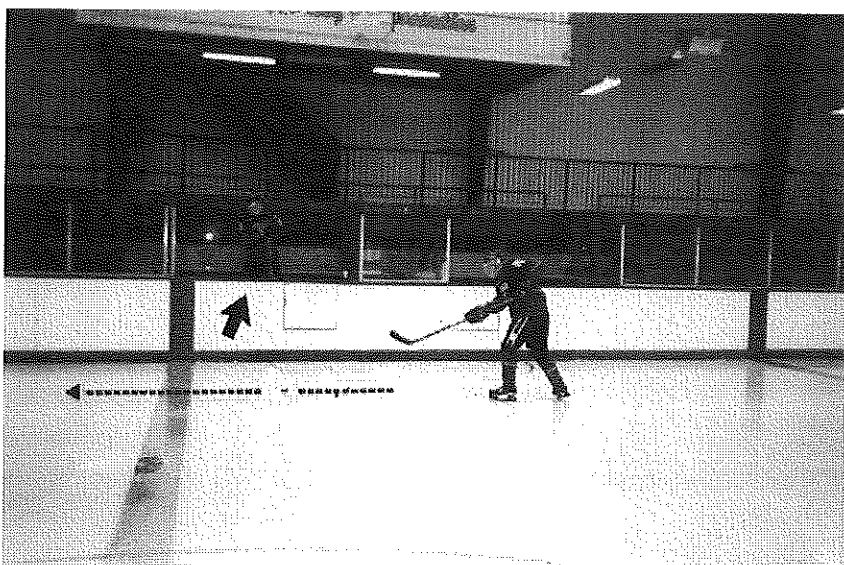


図 4 2

パックが打たれた時点でプレイヤーが完全にペナルティを遂行中である。
ノー・アイシング（図4 2）

< ま と め >

試合を成功させるためには、確実なジャッジとラインズマンの優れたコールが不可欠である。本章に示した様々な例を常に確認することは、判定の確実性を増すことにつながるであろう。

0.00012

0.00012